

# 新型コロナウイルス感染症流行下における小児 歯科領域の集団健診に関して、JSPP理事より6 月14日時点で得られた各地域の情報

## 1. 前置き

## 2. 日本学校歯科医会からの文書

「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」の紹介

## 3. 日本学校歯科医会からの文書

「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」を実現する上で気になる点

## 4. JSPP理事より得られた現時点での各地域の対応

## 5. まとめ

## 1. 前置き

新型コロナウイルス感染症流行にともなう緊急事態宣言が5月14日～5月25日にかけて解除され、経済活動、学校活動など日常を取り戻しつつあります。とはいえ、政府からは「新しい生活様式」として3密を避けること、ソーシャルディスタンスを意識するなど、引き続き感染予防対策が提言されています。

そんな中で、今回は、小児歯科医として関わる公衆衛生活動、とくに集団健診（学校、幼稚園、保育園、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診など）についての各地域の実態をJSPP理事の先生方から得られた情報をまとめてみました。

## 2. 日本学校歯科医会からの文書

### 「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」の紹介

#### 日本学校歯科医会ホームページより

[https://www.nichigakushi.or.jp/news/pdf/corona\\_shishin.pdf](https://www.nichigakushi.or.jp/news/pdf/corona_shishin.pdf)

6月1日付で、「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」と題の文書が掲載されています。これをガイドラインとして扱うべきかと思えます。

#### 学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い

令和2年6月1日 日本学校歯科医会

学校歯科健康診断実施にあたり、『「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり』に基づいて、事前に学校側と感染症対策について十分にご協議いただきますようお願い申し上げます。

また、学校歯科医の先生方におかれましても、「学校歯科医の活動指針」をお読みの上、感染の予防に十分ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

\* (文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(2020.5.22 Ver,1) P33 参考 )

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/mext\\_00029.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html)

#### 学校歯科健康診断時の注意点 (留意点)

##### 学校側

- 1 事前に家庭での健康管理を徹底する
- 2 事前に保健調査票を記入する
- 3 健康診断当日は児童生徒や検診にかかわる教職員全員の体調チェックを徹底する
- 4 検診室の換気を適切に行う
- 5 密集しないよう一度に多くの児童生徒を検診室に入れない
- 6 検診室では会話や発声を控えるよう児童生徒等に徹底する
- 7 ミラー等の検診器具の滅菌を徹底する
- 8 記録者はマスク・フェイスガードを着用することが望ましい

##### 学校歯科医側

- 1 手指消毒 (アルコール等) を徹底する
- 2 口腔内を触らない検診方法を心掛ける
- 3 マスク・グローブを着用する
  - \*グローブの用意が可能であればグローブは一人ひとり交換することが望ましい
  - \*顎関節検査は、保健調査票を参考とし、異常を訴える児童生徒を触診しグローブを交換する
- 4 ゴーグル (フェイスガード・フェイスシールド) を着用することが望ましい
- 5 保健調査票を活用し、効率良い健康診断を行う
- 6 特別支援学校や高リスクの環境において身体抑制が必要な場合は防護着を着用することが望ましい
- 7 「学校歯科医の活動指針」に準じて、臨機応変に対応すること

### 3. 日本学校歯科医会からの文書

「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」を実現する上で気になる点

#### 学校歯科健康診断時の注意点（留意点）

##### 学校側

- 1 事前に家庭での健康管理を徹底する
- 2 事前に保健調査票を記入する
- 3 健康診断当日は児童生徒や検診にかかわる教職員全員の体調チェックを徹底する
- 4 検診室の換気を適切に行う
- 5 密集しないよう一度に多くの児童生徒を検診室に入れない
- 6 検診室では会話や発声を控えるよう児童生徒等に徹底する
- 7 ミラー等の検診器具の滅菌を徹底する
- 8 記録者はマスク・フェイスガードを着用することが望ましい

#### 検診器具の滅菌体制は？

オートクレーブのある施設や滅菌を業者に委託のところもあるようですが…、そうでないところでは？（煮沸消毒!?)

児童数の少ない学校では、学校歯科医が滅菌済みの器具を準備する？

ディスポのミラー等を用意する？

#### 備品の準備、費用の負担はどこが？

検診器具の滅菌にかかる費用は（とくに学校歯科医が用意した場合）？

フェイスガードなどの備品の費用、品薄の場合の手配は大丈夫？

### 3. 日本学校歯科医会からの文書

#### 「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」を実現する上で気になる点

##### 学校歯科医側

- 1 手指消毒（アルコール等）を徹底する
- 2 口腔内を触らない検診方法を心掛ける
- 3 マスク・グローブを着用する
  - \* グローブの用意が可能であればグローブは一人ひとり交換することが望ましい
  - \* 顎関節検査は、保健調査票を参考とし、異常を訴える児童生徒を触診しグローブを交換する
- 4 ゴーグル（フェイスガード・フェイスシールド）を着用することが望ましい
- 5 保健調査票を活用し、効率良い健康診断を行う
- 6 特別支援学校や高リスクの環境において身体抑制が必要な場合は防護着を着用することが望ましい
- 7 「学校歯科医の活動指針」に準じて、臨機応変に対応すること

##### 備品の準備、費用の負担はどこが？（学校側に要求できる？）

グローブ、フェイスガード、フェイスシールド、防護衣などの備品の費用負担？  
品薄の場合の手配は大丈夫？

##### 検診時間が増大？

密を避け、ソーシャルディスタンスを保ちながら児童を誘導しつつ、ひとりひとりグローブの交換をすると、従来より多くの時間がかかると考えられる  
→ 学校のカリキュラムへの影響、学校歯科医側の人件費の問題

## 4. JSPP理事より得られた現時点での各地域の対応

理事A 東京都の一部	開催時期	感染対策
学校健診	2学期へ延期	
保育園 幼稚園健診	6月より園の判断で行っているところあり	
1歳6ヶ月児健診 3歳児健診	6月中旬より再開	
理事B 青森県		
学校健診	7月から再開	フェイスシールド、養護学校での防護衣（学校が用意） グローブひとりひとり （全て学校が用意）
保育園 幼稚園健診		
1歳6ヶ月児健診 3歳児健診	6月中旬より再開	

理事C 佐賀県の一部	開催時期	感染対策
学校健診	各学校と学校医の判断で 6月中旬より再開 (2学期のところもあり)	コロナ前よりグローブひとりひとり (学校負担) フェイスシールド (歯科医師会で 自主的に用意)
保育園 幼稚園健診	6月より再開 (各園と園医での判断)	コロナ前よりグローブひとりひとり (園負担) フェイスシールド (歯科医師会で 自主的に用意)
1歳6ヶ月児健診 3歳児健診	7月より再開	コロナ前よりグローブひとりひとり (行政負担) フェイスシールド (歯科医師会で 自主的に用意)

理事D 島根県	開催時期	感染対策
学校健診	各学校と学校医での判断の市町村と2学期からのところあり	
保育園 幼稚園健診		
1歳6ヶ月児健診 3歳児健診	7月から再開	
理事E 愛知県の一部		
学校健診	7月より再開	グローブひとりひとりを学校負担で交渉中 フェイスシールド（行政負担）
保育園 幼稚園健診	7月より再開	グローブひとりひとりを学校負担で交渉中 フェイスシールド（行政負担）
1歳6ヶ月児健診 3歳児健診	6月より再開	コロナ前よりグローブひとりひとり（行政負担）



## 5. まとめ

### ■ 健診開始時期について

#### ● 学校、幼稚園、保育園における集団健診

6月、7月より実施されるが多かったが、一部に2学期以降に延期されているところもあった

各地域の歯科医師会で行政などから委託を受けて、割り振られていることが多いことが推察され、各地区で横並びかと思われたが、同じ地域内でもまちまちなところもみられた

横並びでないところは、各現場と学校歯科医、園医での協議、判断とされていた

#### ● 1歳6ヶ月児健診、3歳児健診

回答の得られた全ての地域で、6月、7月より実施されるとのことであった

## 5. まとめ

### ■ 日学歯の提言にある感染予防対策を実施する上で、新たに必要になったものについて

#### ● 術者、アシストのための感染予防対策

ゴーグルやフェイスシールド

防護衣（特別支援学校などで身体抑制を必要とする場合）

#### ● 子ども達のための感染予防対策

グローブをひとりひとり交換

検診器具の滅菌の徹底\*（オートクレーブ？またはディスポの器具の用意？）



フェイスシールド、グローブのひとりひとり交換については、回答の得られた全ての地域で実施またはその方向で調整中であった

防護衣の準備も必要な場合は実施されていた

\*検診器具の滅菌については、今回の調査ではコメントは得られなかったが、今後世間から厳しい目で見られると考えられる。歯科校医、園医をされている先生は、各施設の検診器具の滅菌体制の確認をお勧めしたい

## 5. まとめ

### ■ 新たな感染対策の備品の準備の体制について

フェイスシールド、グローブひとりひとりなどについては、行政や各現場側で準備や費用負担が行われるところが多かったが、地区歯科医師会で準備しているところもみられた

これらの準備に品薄等のトラブルについては、回答からはみられなかった